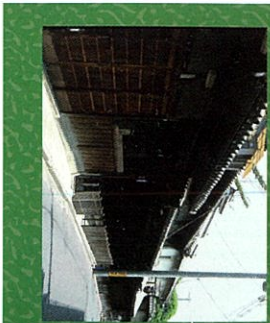


沿線風景



新町通り
新町は、慶長13年(1608年)頃、当時二見城主だった松倉重政によって新町村として開かたことじ始まる。重政が城下町の整備策として、住民の年貢負担を軽減したため、新町には側ながら個人が建まっって大いに賑わうようになった。

奈良県コースの所要時間	起点までの最寄駅と所要時間
約2時間30分	JR和歌山線「五條」駅
奈良県コースの距離	終点から最寄駅までの所要時間
6.3km	JR和歌山線「隈田」駅

コースガイド

五條新町は、国道24号線の南側に平行する旧紀州街道の町並みで、江戸時代の宿場や商業の町としての景観を今も残している。核心部はおおよそ500メートル続く。

大岡山法華轉寺は、高野山真言宗の寺院。弘仁7年(816年)空海の創建と伝える。境内に、大御家と明神塚と呼ばれるふたつの古墳(円墳)がある。

上野公園は、五條市営の総合スポーツ公園。吉野川の河川敷をゆったり使っている。

念仏寺は、相谷町からコースを外れて阪合郡橋を渡り、左(東)側の「まづち」にある無住の寺。1月14日に行われる曳走りは、豊快祭行事で、県指定無形文化財。

念仏寺から隈田駅までの間は、万葉時代の「配路」の一部の「まづち山」などの名所もある。

江戸時代の町並み景観を残す五條新町から、吉野川右岸をたどり、和歌山県橋本市につながるコース。五條新町は、旧紀州街道に面し、宿場や商業の街として発展した江戸時代の景観を今も残している。続いて五條郊外の田園地帯を、JR和歌山線沿いに歩くコースで、大師信仰の犬飼寺から上野公園を過ぎ、やがて吉野川左岸に奇祭で知られる念仏寺が見える。念仏寺を横目にみて相谷町で吉野川に接近し、対岸を向近く眺めながら、水田と柿畑の中を西へ向かう。県境で落合川を横断すれば、隈田駅は近い。

沿線風景

